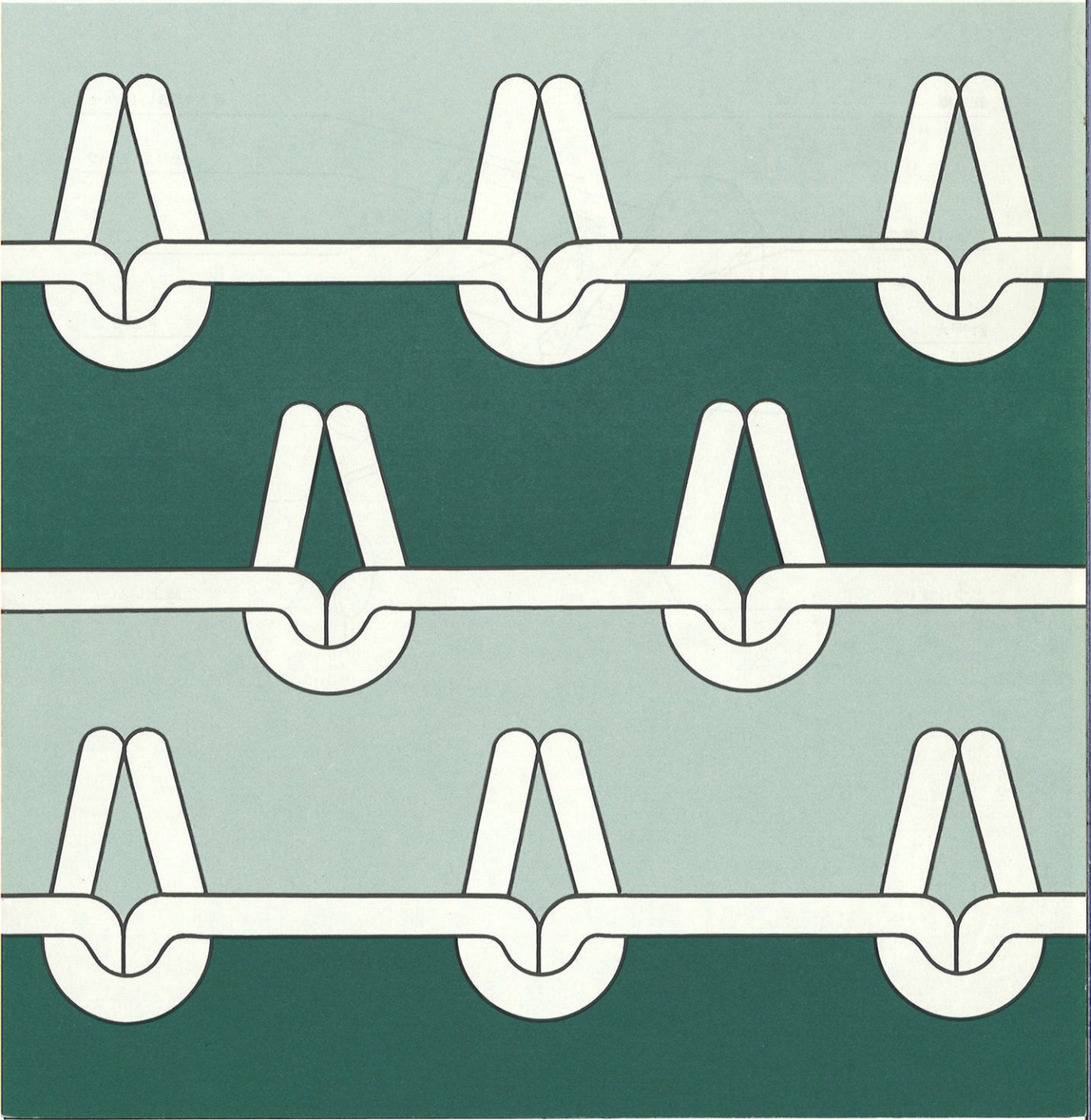


ベビースクイ

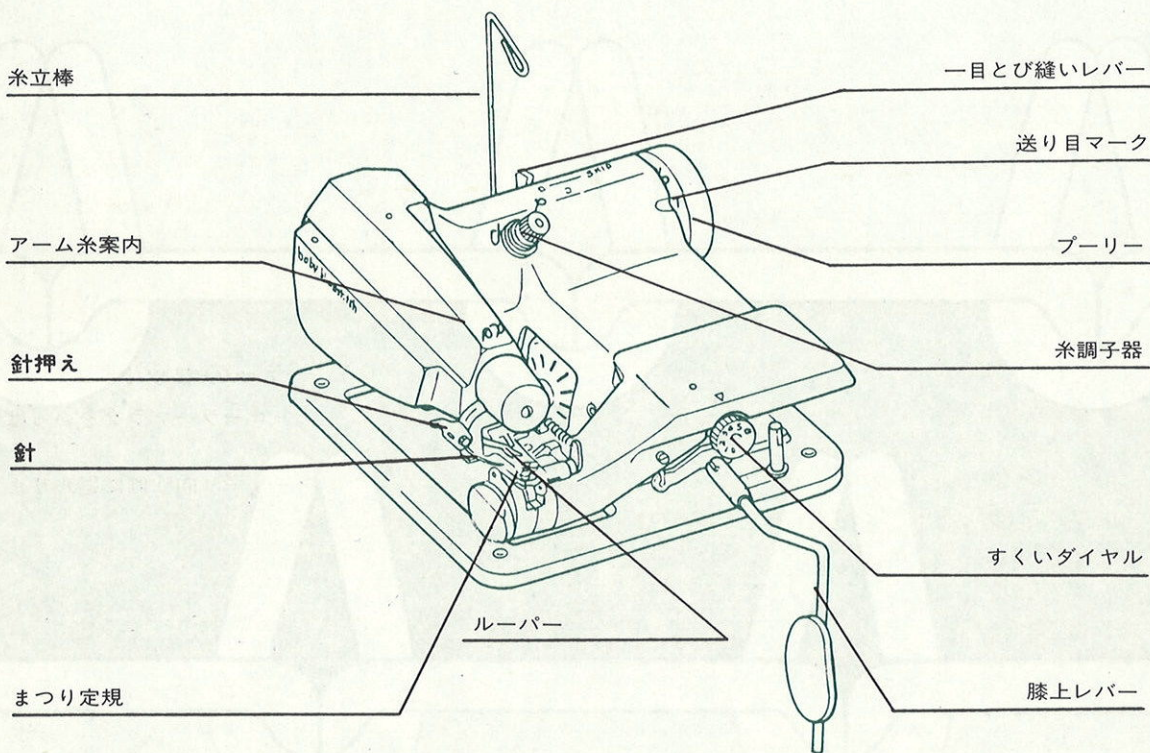
CM-606N

ご使用のてびき

株式会社 **ジューキ**



各部の名称



はじめに

このたびは、ベビースクイをお買い上げいただきましてありがとうございます。
このてびき書をよくお読みにになり、正しく、末永くご愛用ください。

目	次
1. クランプ・膝上レバー・コントローラーのセット 1	7. 縫い終りと糸切り 5
1-1. クランプのセット 1	7-1. 縫い終り 5
1-2. 膝上レバーのセット 1	7-2. 糸切り 5
1-3. コントローラーのセット 1	8. 針のとりつけ 6
2. 糸の通しかた 2	9. 補助テーブルのとりつけ 7
2-1. 糸立てのセット 2	10. 糸のほどきかた 7
2-2. 糸の通しかた 2	11. 一目飛び縫い 8
3. 縫い始め 3	12. 注油のしかた 9
4. 糸調子の調節 3	13. 点検と調節 9
5. すくいダイヤルの調節 4	
6. 送り目長さの調節 5	

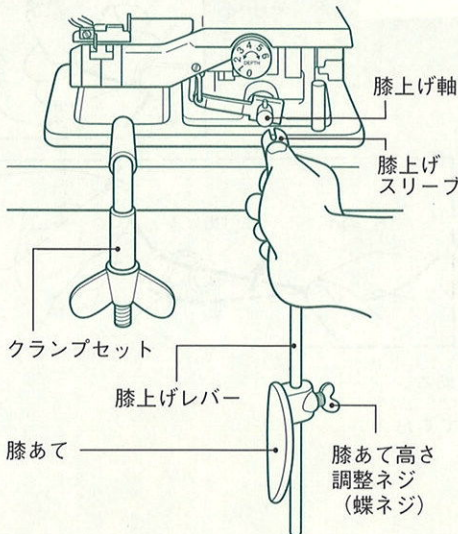
① クランプ・膝上レバー・コントローラーのセット

1-1. クランプセット

- 付属のクランプを使用してミシンをテーブルに固定しますと膝上レバーの操作が楽になります。

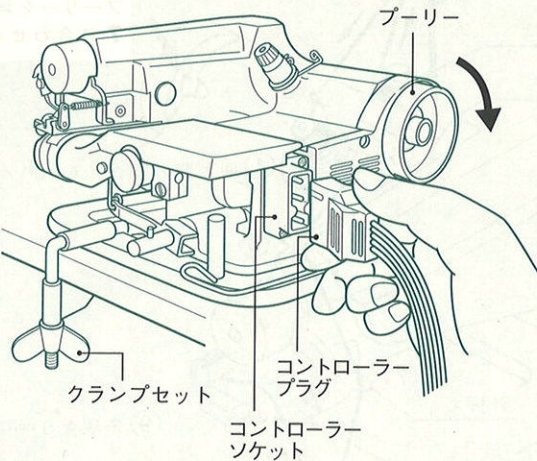
1-2. 膝上レバーのセット

- 膝上スリーブを膝上軸にしっかりと差し込んでください。
- 膝あての高さを膝に合わせて調節し、膝あて高さ調節ネジ(蝶ネジ)を手で締めてください。



1-3. コントローラーのセット

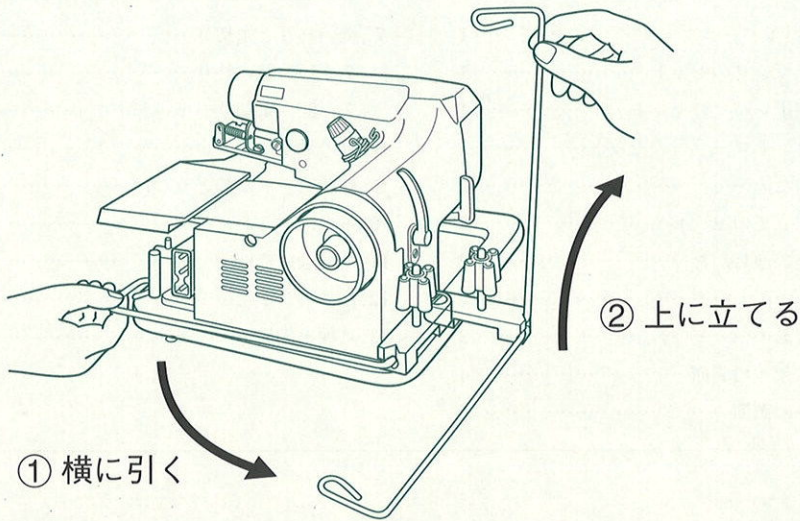
- ソケットにはコントローラープラグをしっかりと差し込んでください。
- ペダルを踏むとプーリーは向う側に廻ります。



② 糸の通しかた

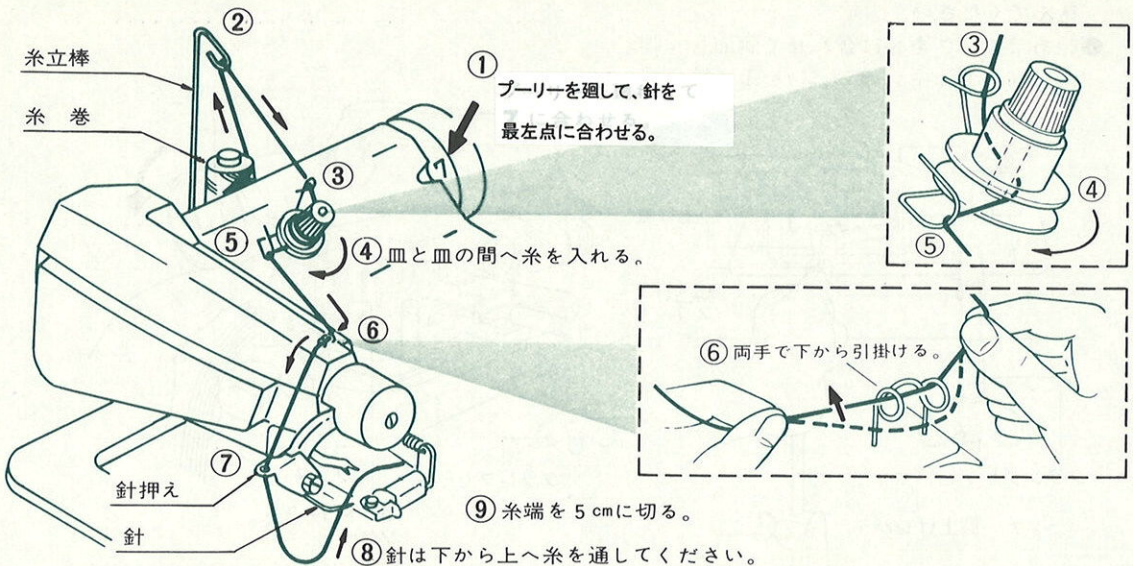
2-1. 糸立てのセット

●糸立ての先端を持って、横に開いてから持ち上げてください。



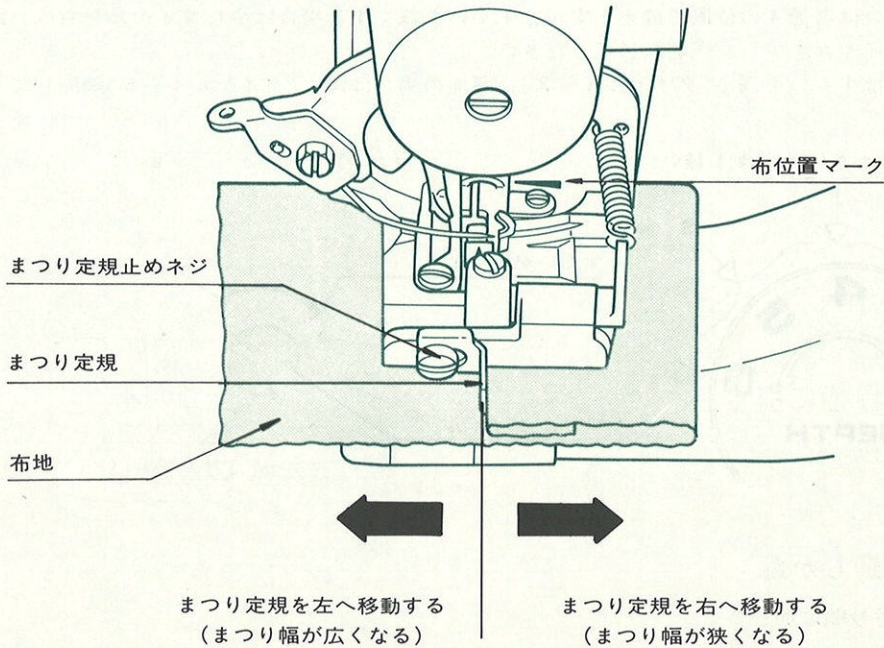
2-2. 糸の通しかた

●糸は図の番号順に通してください。



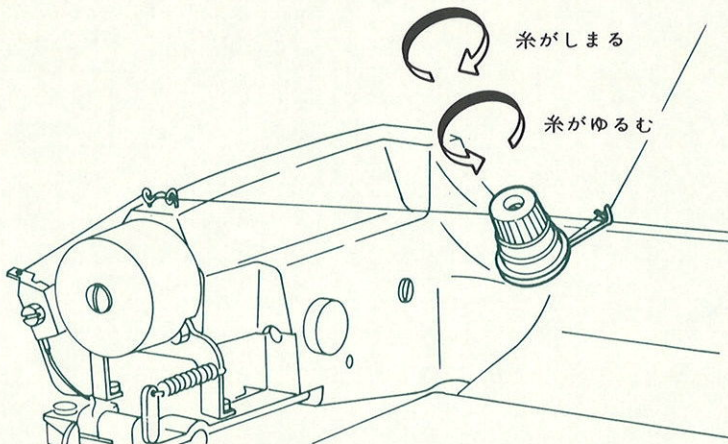
3 縫い始め

- 針板の布位置マークより布を奥へ入れて縫いをはじめてください。
- この時、まつり定規の右側面に布の折り返えしをそわせて、布を送り込んでください。
- 又このミシンは、まつり定規を左右に移動する事によって、まつり幅の調節ができます。その場合、図のようにまつり定規止めネジをゆるめ、まつり定規を左へ移動すると、まつり幅は広くなり、右へ移動すると狭くなります。



4 糸調子の調節

- 糸調子は布に合わせて締め過ぎないように調節してください。
- 布の送り量によっても糸締めが変わりますから、糸調子を調節してください。



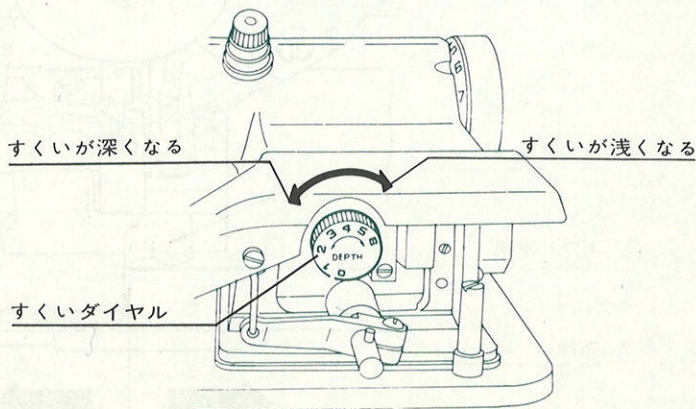
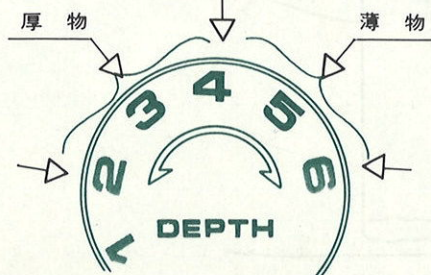
5 すくいダイヤルの調節

●すくい縫いミシンの針のすくい深さの調節は非常に重要ですから、布に合わせて十分に調節してください。

●中厚地の場合は普通4の位置で縫えますが、すくいを浅くする場合は少しダイヤルを右へ、深くする場合はダイヤルを少し左へ廻わしてください。

※厚地の場合はすくいを浅く(ダイヤル4~2)、薄地の場合は深く(ダイヤル4~6)調節してください。

中厚物を縫うとき(又は八刺し縫い)

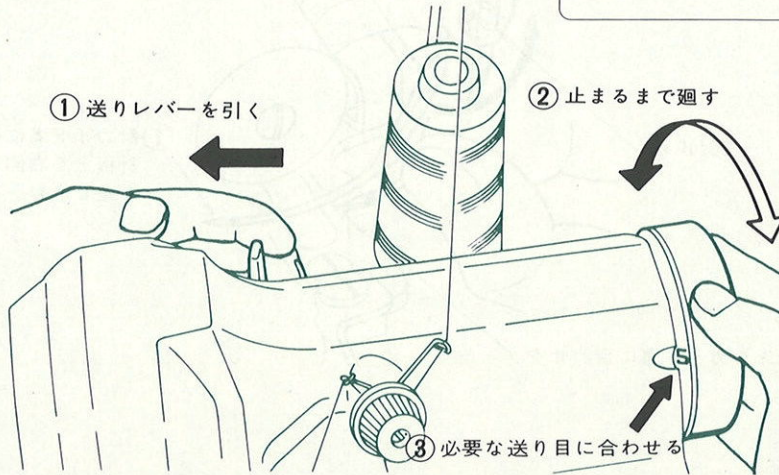


前巻の予備米

6 送り目長さの調節

- 送り目長さを変える場合は次の順序でセットしてください。
 - ① 送りレバーを左手で引き、そのまま左手をはなさない。
 - ② 右手でプーリーを向う側へ止まるまで廻す。
 - ③ プーリーが止まった後、レバーを引いたままプーリーを手前に廻し、必要な送り目マークに合わせる。
 - ④ 送りレバーをはなす。
- プーリー送り目マークはミリメートル表示です。

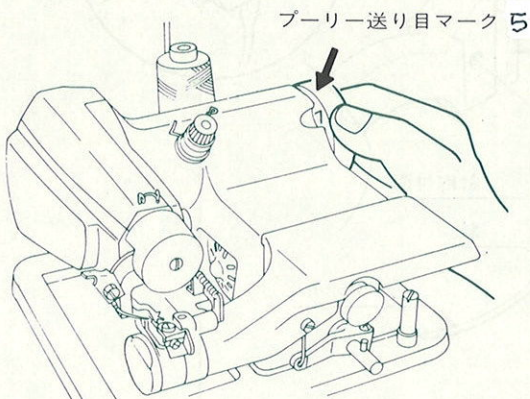
送り目長さの調節範囲
3^m ~ 8^m



7 縫い終りと糸切り

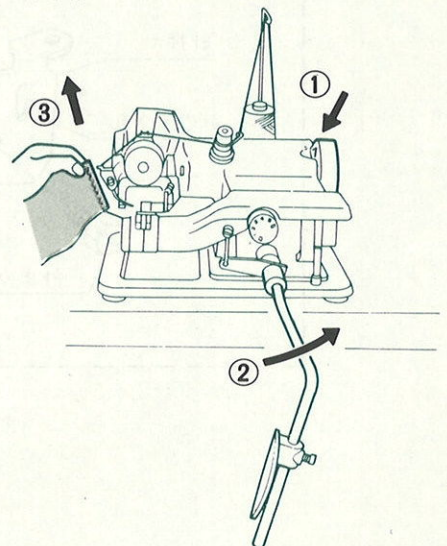
7-1. 縫い終り

- 縫い終りは必ずプーリーを廻わして、送り目マークを5に合わせてください。



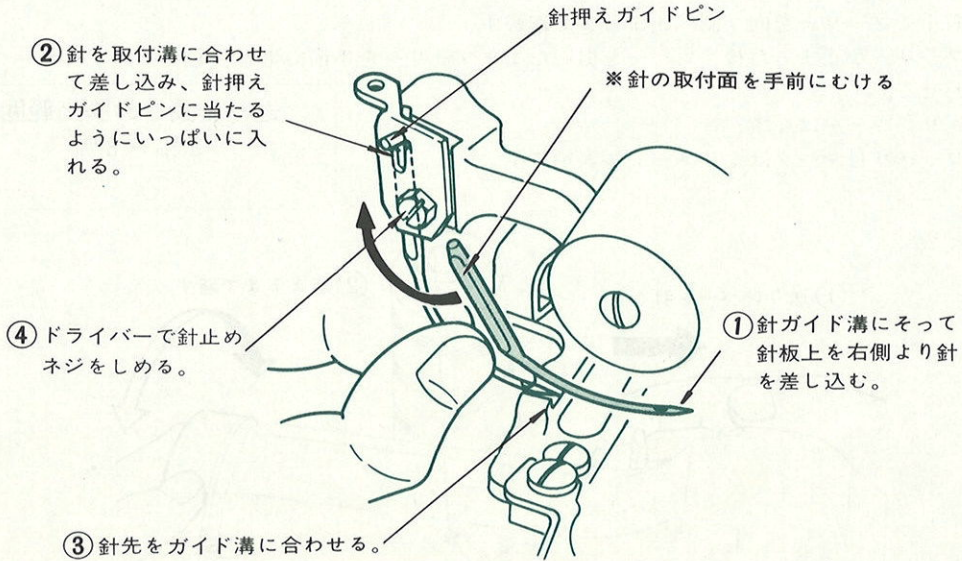
7-2. 糸切り

- 糸切りは次の順序で操作してください。
 - ① プーリーを7に合わせる
 - ② 押えを下げる。
 - ③ 布ごと、向う側へ引張る
- ※ プーリーの送り目マークが7以外のところで布を引くと針が折れることがあります。

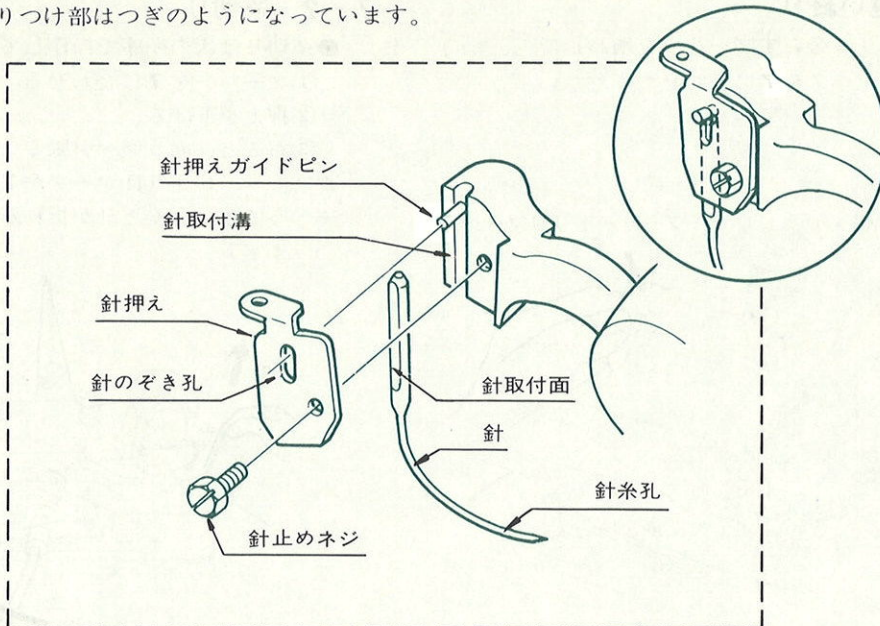


8 針のとりつけ

●針は図の番号順にとりつけてください。



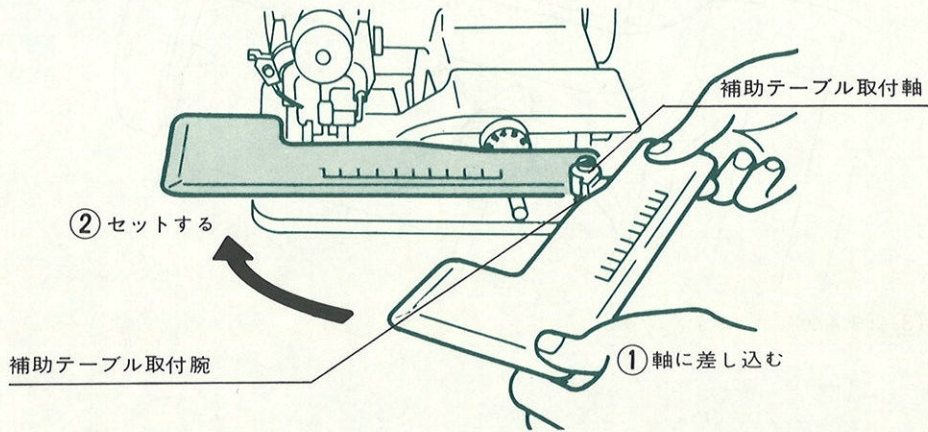
※針のとりつけ部はつぎのようになっています。



9 補助テーブルのとりつけ

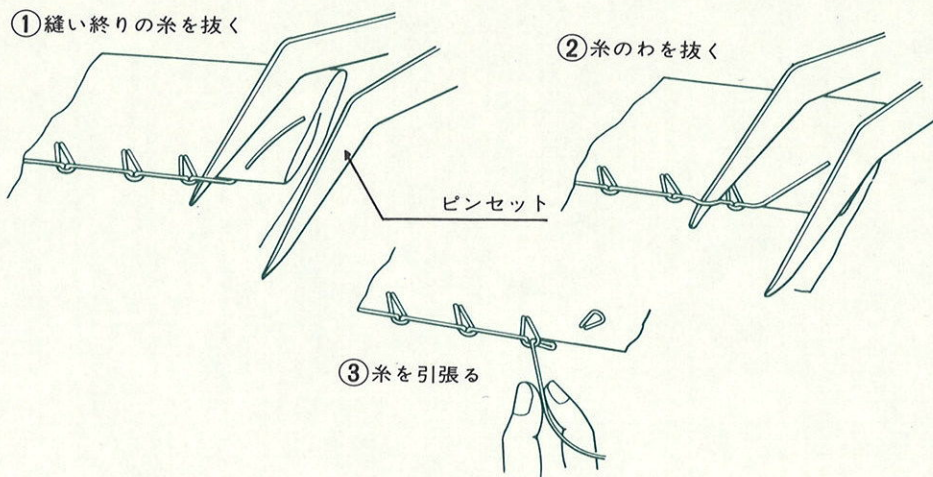
●補助テーブルは、筒もの縫い以外の特別なものを縫う場合にご使用ください。

- ①補助テーブル取付腕をとりつけ軸に差し込んで、
- ②補助テーブルをミシンに合わせて補助テーブル取付腕の蝶ネジを締めつけてください。



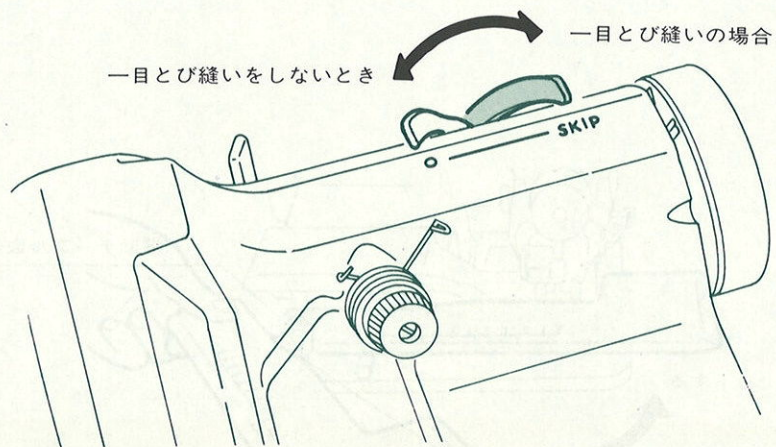
10 糸のほどきかた

●縫いの終りから糸を一目外して引けば縫い糸はほどけます。



11 一目とび縫い

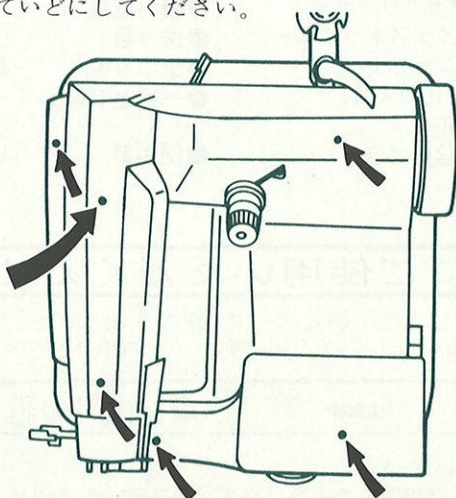
- すくい目の長さを8mm以上にする場合には、レバーをSKIPの方にセットしてください。すくい目は縫い目の2倍の長さになります。



12 注油のしかた

- 黄印のついている個所に1ヵ月に1～2回注油してください。1回の注油の量は1～2滴でいどにしてください。

この箇所のみ1回当たり
5滴注油してください



13 点検と調節

- このベビースクイは、むずかしい専門的な調節をすることなく使用できるようになっていますが、つぎのような例は、基本的な調節ができていないときに起りやすい故障ですから、状況を確認して、再チェックしてください。

A) ミシンが動かないとき

- コンセントがぬけていませんか。(第1項参照)
- ベルトがゆるいではありませんか。
- 注油を忘れていませんか。(第12項参照)

B) 縫えないとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第8項参照)

C) 糸が切れるとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 糸調子が強すぎませんか。(第4項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第8項参照)
- 糸の種類はどうですか。

D) 目とびするとき

- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第8項参照)
- すくいダイヤルは、布に合わせてありますか。(第4項参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 糸の強さは布と送り目に合っていますか。

E) 縫い目の調子が悪いとき

- 糸調子を確かめてください。(第4項参照)
- 送り目に糸調子を合わせてありますか。(第4項参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)

F) すくいむらがあるとき

- すくいダイヤルは布に合わせてありますか。(第5項参照)
- 布を正しく送り込んでいますか。
- 布を定規に合わせて送り込んでいますか。(第3項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第8項参照)

梱包明細

1. ミシン本体（モーター付）
2. コントローラーセット
3. 補助テーブル
4. 膝上棒（組）
5. 膝当てセット（ネジ付）
6. クランプセット
7. 頭部ビニールカバー
8. 保証書
9. ご使用のてびき
10. アクセサリーセット
 - ・ マイナスドライバー
 - ・ ピンセット
 - ・ 針（LW×6T）
 - ・ 油差し
 - ・ 掃除用ブラシ

仕様

- 縫い方式 曲針一本針単糸環縫い
- 縫い速度 1 2 0 0 針/分
- 送り目 3 ~ 8 mm
- まつり幅 標準 3.5 mm
- 一目とび縫い 一目とび縫い装置付
(ワンタッチレバー式)
- 使用針 LW×6T (ラメルツ、シュメツツ)

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告

➡ 感電、火災の恐れがあります。

- ◇ 一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇ 使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意

➡ 感電、火災、ケガの原因となります。


- ◆ コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
- ◆ お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。
- ◆ 以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・ 強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・ スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・ お子様の手の届く場所
 - ・ 高い場所
 ※ミシンの使用温度は0℃~40℃です。
- ◆ ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
- ◆ 以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・ 糸をセットするとき
 - ・ 針を交換するとき
 - ・ 膝上レバーをセットするとき
 - ・ 補助テーブルを取付けるとき
- ◆ ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆ 電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆ 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆ 以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・ 電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・ ミシンが濡れたとき
 - ・ 異常な臭いや音がするとき
 - ・ 落下などにより破損したとき
 - ・ 正常に作動しないとき
- ◆ 操作中は針から目を離さないようにし、針・プーリー・天秤・ルーバー・はずみ車などすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ ミシンには正規の部品をご使用ください。また針先の曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆ 縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。

baby lock

ベビーロックの最新情報や作品づくりのアイデアは
ホームページとfacebookをチェック!

ホームページ  ベビーロック  www.babylock.co.jp

(ベビーロックの使い方) www.babylock.co.jp/works/babylock

スマホからは、

 Facebookページ facebook.com/babylockjapan

株式会社 **ジューキ**

※baby lockは株式会社ジューキの登録商標です。

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店 / 東京 03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6768)3651
広島 082(227)5781 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
TEL			

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。